



内子座



藝於遊



瓦の取外し⑥

令和7年10月22日、屋根の棟積や鬼などの役物瓦に続き、一番枚数の多い桟瓦を取り外していく作業に入りました。

まず着手されたのは、太鼓櫓。続いて越屋根、唐破風の屋根です。それぞれ、層出しの作業をして状態を調査した後、見事な連携プレーで瓦が取り外されていきました。



瓦とともに作業しなければならないのが土の処理です。屋根の場所により厚みもそれですが、およそ3cmの厚みの土を落とさないよう袋に詰め、屋根から下ろす作業も力のいる仕事です。



このあたりの土をいただき、内子座楽屋に展示しています。内子座の瓦を支えていた土をご覧ください。



▲唐破風の屋根も、瓦、土、ともにきれいに取り除かれ、地上へと下りていきました。ちょっと屋根が寒そうですね。